

H-Ⅱロケットによる人工衛星等の打上げに係る安全評価のための基本指針の策定
及びH-Ⅱロケット試験機1号機の打上げに係る安全の確保に関する調査審議につ
いて

(案)

平成5年8月4日
宇宙開発委員会決定

1. 調査審議の趣旨

静止衛星重量に換算して2 t程度の打上げ能力を有する大型のH-Ⅱロケット
については、現在開発の最終段階であり、平成5年度冬期に試験機1号機の打上
げが予定されている。

H-Ⅱロケットは、1990年代における物資の打上げ需要に対応する主力機
種として位置づけられており、現時点で平成9年度までの期間について6号機ま
での打上げが計画されている。

このH-Ⅱロケットによる人工衛星等の打上げに係る安全確保に関し、より効
率的に検討するための基本指針を策定し、これに基づき試験機1号機の打上げに
係る安全確保について調査審議を行うこととする。

2. 調査審議事項

- (1) H-Ⅱロケットによる人工衛星等の打上げに係る安全評価のための基本指針
の策定
- (2) H-Ⅱロケット試験機1号機の打上げに係る以下の安全対策についての
(1)に基づく妥当性
 - ① 地上安全対策
 - ② 飛行安全対策
 - ③ 安全管理体制

3. 調査審議の進め方

調査審議は、安全評価部会において行うこととし、平成5年10月中旬までに
終えることを目途とする。

(参考)

宇宙開発委員会安全評価部会構成員

(部会長)

吉田 忠雄 法政大学工学部教授

(部会長代理)

長洲 秀夫 日本科学技術情報センター監事、富士重工業顧問

井口 雅一 東京大学工学部教授

岩崎 民子 (財)放射線影響協会研究参与

河村 光隆 通商産業省工業技術院物質工学工業技術研究所極限反応部部長

栗林 忠男 慶応義塾大学常任理事、法学部教授

小林 繁夫 東京理科大学工学部教授

近藤 恭平 東京大学工学部教授

坂田 八昭 警察庁科学警察研究所法科学第2部長

塩見 弘 中央大学理工学部教授

下平 勝幸(*) 宇宙開発事業団理事

手代木 扶 通信総合研究所通信技術部長

長谷川和俊 消防庁消防研究所第2研究部長

雛田 元紀 文部省宇宙科学研究所教授

谷島 一嘉 日本大学医学部教授

山中 龍夫 航空宇宙技術研究所科学研究官

(*) 印の専門委員は、今回の調査審議については説明者として参加。